

介護保険者としての責任を果たして参ります。

介護施設の整備につきましても、介護保険事業計画により着実に進めて参ります。

3. 消防業務

松江自動車道が3月30日に開通し、中国縦貫自動車道と接続することから交通量の増大、それに伴う交通事故の増加が懸念されるところです。

これに対応するため、この度、高速道路を介し隣接することとなる広島県備北地区消防組合との間で「消防相互応援協定」を締結し、高速道路における火災、救急及び救助活動について迅速な対応ができるよう、体制を整備いたします。

平成25年度当初予算は、引き続き、島根県と共同施工による消防救急デジタル無線の施設整備を進めるほか、車両更新計画に基づき高規格救急自動車の更新及び消防はしご車のオーバーホールの経費を計上し、緊急時に備え万全を図ってまいります。



4. 環境衛生業務

近年、下水道の普及により、し尿の処理量は減少傾向にあるものの、合併浄化槽、農業集落排水汚泥も処理していることから、雲南クリーンセンターの稼働率は100%を超えている状況です。施設は、更新時期を迎え、修繕箇所も多くなっていますが、引き続き経費削減を図りながら安定的な運営に努めてまいります。

5. 下水道事業

広域連合の業務に新たに下水道事業が加わりました。

新たな下水道施設は、平成25年度から28年度の4年の工期で整備する計画としております。安定的な施設運営が図れるよう、また、イニシャルコスト、ランニングコストにも優れた処理施設となるよう、施設整備を進めてまいります。

6. 事務所の統合

広域行政の在り方を見直し、業務ごとに設立されておりました一部事務組合を雲南広域連合に再編統合し、平成23年度から雲南広域連合の業務に消防業務、環境衛生業務が加わりました。次なる改革といたしまして、効率化、組織力強化のため、事務所の統合を計画してまいります。

平成25年度 雲南広域連合長 所信表明要旨

1. 地域振興事業

先般1月19日、20日の両日にわたり「島根ふるさとフェア」が広島市で開催され、天候にも恵まれ16万人の来場者を記録したところです。雲南広域連合が働きかけスタートしたこのイベントも、今年で16回目となり、すっかり冬の一大行事として定着し、多くの広島市民の方がこのイベントを心待ちにされているように聞いております。

雲南圏域からは、29団体の出店のほか、たくさんの方々に盛り上げていただきました。皆様のお力によりまして、雲南の魅力、食の豊かさを十分にPRできたものと考えております。

本年は、ふるさと振興事業基金の運用益のほか、島根県の財政支援により、松江自動車道の開通により近くなった雲南、出雲大社の大遷宮を迎える年の神々の国しまね雲南を、広島県を中心にPRできるよう事業展開してまいります。

具体的には、雲南圏域の各種団体が参画しています「神々の国しまね雲南地域実行委員会」と連携を図りながら、島根ふるさとフェア、雲南フェアのほか、出雲神楽と食のフェスタの第2弾として、飯南町のポピー祭との共同開催を予定しています。また、春にはスイーツラリー、秋には湯たんぽラリーを計画しております。

さらに、女性だけで企画する「おくいずも女子旅」や、旅行業者に商品を開発していただくため、現地へ旅行業者をご案内する「観光資源PRモニターツアー」を企画し、新たな誘客につなげて参ります。

2. 介護保険事業

平成12年に創設された介護保険は、後期高齢者の増加と相まって、要介護認定者数やサービス利用者数も増加し、年々、介護保険給付費が増大しております。

平成25年度当初予算には、介護保険事業計画に基づき保険給付費を見積もり、前年度比2.5%増の71億1千万円を計上しました。

予防事業、認知症対策に力を入れ、高齢者の方々が安心して暮らせるよう、また、介護を必要とされている方に対し、適切な介護サービスが提供できるよう、

